



鎮西学院学院長

かん さん じゅん
姜 尚 中

大村市長

園 田 裕 史

大村市文化・スポーツ振興財団理事長

酒 井 辰 郎

(コーディネーター)

県央地域で連携した教育環境を目指して

酒井氏

本年4月に、鎮西学院の学院長に就任された姜尚中さんをお招きし、園田市長と今後の鎮西学院と大村市との連携や展望を探りながら、対談していただきたいと思えます。

市長

私はもともと精神科の看護師で、自死遺族を支援する活動をしていました。その活動の中で、実は姜さんと一緒にすることもありました。今回、鎮西学院の学院長に就任されたということ、大変うれしく、また心強く感じています。それは来年4月、本市に外国人日本語学校である「長崎ウエスレヤン大学大村サテライトキャンパス(仮称)」を設立していただくからです。学院にも大村にも新たな一歩。ともに力を合わせて取り組んでいきましょう。

姜氏

園田市長はアクティブな人だと聞いています。先ほど、サテライトキャンパスが入る複合ビルを見学してきました。

酒井氏

複合ビルを見てきたということですが、もともと大村の印象はどんなものでしたか。

姜氏

大村といえば空港というイメージ。以前、ハウステンボスの澤田社長と一緒したとき、

「大村は風光明媚ですよ。」と盛んに言われていました。

市長

鎮西学院の栗林理事長とは、有意義な交流をさせていただいています。いろいろな発想を持っていらっしゃるの、尊敬しています。サテライトキャンパスの設置を検討いただいたことにありがたく思っています。

姜氏

逆に大村が諫早にある学院に興味を持っていただいたことをうれしく思っています。

市長

大村からも多くの子どもたちが鎮西学院に通っています。それだけ魅力的な学校が県央地域にあることは、うれしい限りです。本市は人口が増えています。それは大村の力だけでなく、県央地域の居心地の良さ、住みやすさがあるからこそだと思っています。さらに今後は、交流人口の増加、教育的な交流を進めていきたいと思っています。

酒井氏

姜学院長は、熊本県出身で、これまでいろいろな要職を歴任されています。近年では、平成28年に熊本県立劇場の理事長兼館長に就任され、その後、鎮西学院の教育顧問を経て、今年4月から学院長に就任されました。学院長としての意気

地域間の連携は 今後、不可欠



鎮西学院学院長

姜 尚 中

込みをお聞かせください。

姜氏 これからの日本社会は「地域」がキーワード。戦後できあがった自治体の区割りでは、越境的にやっついていかないと問題が解決できなくなっています。大村に学院がコミットして、いろいろなことを進めることができると考えています。

市長 一つの分野だけでなく、多面的に正解を導き出せるかが、これから必要となつてきます。姜学院長は幅広い経験と知識があらわれるので、ご教示いただきながら、人材育成などにも、先生の力をお借りしたいと考えています。

姜氏 県立図書館が大村にできると聞いたのですが。

市長 来年の11月にオープンする予定です。県立と市立の図書館、歴史資料館が一体になる複合施設です。この3つの機能が備わる図書館は日本初で、蔵書規模は、現時点では九州で一番です。

姜氏 それはすばらしい。複合型の公共施設があると、かなり人も集まると思います。

市長 この図書館を、サテライトキャンパスの生徒の皆さんにも利用していただけると、新たにグローバルな文化や教育を発信できると思います。

姜氏 インドから約80人の留学生を受け入れる予定です。留学生と交流を深めたり、社会人向けの講座などができればおもしろいですね。市民とも交流が生まれます。

市長 諫早も大村も、地域に根差した活動が盛んです。しかし、諫早と大村は、いまいち連携で

池上彰氏講演会 「池上彰のニュースから 世界を読み解く」



2018
10/28日

14:00~(13:00開場)

シーハットおおむら
メインアリーナ

※申し込みが必要です。

きていません。一つのイベントでも両市に相互に乗り入れ、交流

できれば、経済も活性化すると思つています。その仕組みを学院と大村の交流を契機に、作つていきたいと考えています。

姜氏 大学も学院も、今は多機能化しなければならぬ時代です。自然災害や口蹄疫などの問題にも、地域間が連携しないと乗り切ることができません。

酒井氏 大村藩と鍋島藩だった大村と諫早は、歴史的にいろいろあつただろうけど、合わせると「大鍋」ですし、受け皿はたくさんあると信じています。市長はどういう連携をお考えですか。

市長 長崎は、潜伏キリシタンの世界遺産に認定されました。実

は、潜伏キリシタンの布教の始

まりは大村市。弾圧があつて逃げた所々が世界遺産になりました。それを知っている韓国の敬虔なクリスマスチャンは毎年、巡礼ツアーで大村の殉教地を訪

れられます。鎮西学院はクリスマスチャンの学校でもあるし、構成資産のない両市で、キリシタンをテーマにした観光交流も考えられないかと思つています。

酒井氏 姜学院長は大村市との連携をどう考えますか。

姜氏 県立図書館が大村にできるといふことには驚きました。しかも、一休型で。これからは観光も重要ですが、一方でこういう施設があればまちは活性化し、可能性が広がります。

特別対談]

教育環境を目指して

裕史×酒井 辰郎

(コーディネーター)



大村市長

園田 裕史

この交流を契機に 連携を強固なものに

市長 1階には、多目的ホールもできます。私は、今までの生涯学習という固いイメージではなく、幅広く学べるワークショップ的なものを定期的に仕掛けていけないかと考えています。

姜氏 これは画期的なこと。二体型だなんて、今までの発想にはありません。これからは資源をある程度集積した拠点を作っていくかなければなりません。

酒井氏 今回、大村市と鎮西学院が共催して、10月28日、日曜日に、テレビでおなじみの池上彰さんを迎えて講演会があります。学院創立137周年記念と西日本豪雨のチャリティを兼ねての開催です。

姜氏 池上さんは私と同じ年で

【トップ三者
県央地域で連携した
姜 尚 中 × 園田

すが、よく勉強されていますし、むずかしいことをわかりやすく教えてくれます。この講演会が、学院と大村市のジョイントを記念した、一つの打ち上げ花火になればと思っています。

市長 テレビに出ている池上さんや姜学院長の生のお話が目の前で聞けるのは、有意義な時間になると思います。

酒井氏 前半は池上さんの講演会で、後半には池上さんと姜学院長の対談を予定しています。特にこれからの時代を担う若い人たちに聞いてほしいですね。
姜氏 大村市内の高校生に、学院から高校生向けのチケットを400枚準備しています。ぜひご来場ください。

酒井氏 最後に、読者の皆さんにメッセージをお願いします。
姜氏 大村からも高校生や大学生が約400人通っていたたい

ています。これからは地域とともに歩んでいく教育機関でないと生き残れませんし、それが本来の姿です。愛される学院を目指して、地域とともに歩んでいき、大村にも浸透できるとうれしいですね。

市長 いい教育環境を県央地域からともに創り上げ、学力の向上だけでなく、幅広い視点と知識と生きる力を、県央地域で育んでほしいと願っています。

酒井氏 まずは講演会が起爆剤となつて、いろいろな事業を展開していくためにも、ぜひ、鎮西学院と連携を取りながら、県央地域の発展につなげていきたいですね。今日はありがとうございました。

大村市文化・スポーツ振興財団
理事長

酒井 辰郎



連携を深め 県央地域の発展を